

下道恵子議員
市政会



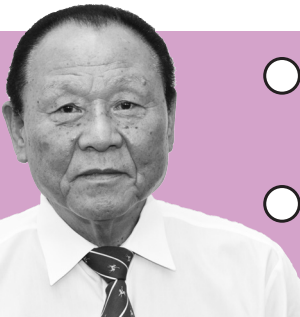
○「道の駅」の担当課について ○放課後児童クラブの開所時刻について

その他の質問

- ・小さい時からの「食生活」の指導強化について
- ・里親制度について
- ・防災宿泊訓練について

- 問** 恐竜溪谷かつやま「道の駅」のオープンが今春と迫ってきた。農産物やお土産用の加工品などについて、どの課に相談にいけばいいのか、窓口が市民にはわかりづらいとの意見が出ている。勝山市の意気込みとして「道の駅の担当課」を置いてほしいと思うが市の考えを伺う。
- 答** 平成28年4月、建設部に「道の駅推進室」を設置した。建設部門の専任職に加え、観光部門、農業部門の職員を兼務で配置し、相互に連携し取り組んできた。オープンに向けた施設整備に加え、農産物の出荷体制や指定管理のあり方について準備を進めてきたが、道の駅のハード部分についての対応が中心となったため、農家の皆さんに対する説明が遅れているのが現状である。建設工事が今春で終了することを受
- け、道の駅推進室を産業・観光部門に移管し、ソフト部門を強化すると共に、道の駅担当窓口を明確にし取り組んでいく。
- 問** 9月定例会にも質問したが「放課後児童クラブ」の開所時刻を、共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童でやむを得ない事情のある方のみ、土曜日や夏休みなどの長期休暇に朝30分早めて7時30分から預かっていただくことをお願いするものである。アンケートでは利用したい保護者の内13%の希望がある。再度、市の考えを伺う。
- 答** 土曜日や夏季、冬季などの長期休暇における児童センターの開館時間の30分程度の前倒しについては、必要性などを十分に考慮しながら、4月以降の実施について検討していく。

高間清一議員
市民の会



○新たな水源の確保が水道料金に与える影響について ○各区提出要望事項の達成率について

その他の質問

- ・市高齢者連合会が主催する草刈ボランティアと勝山市の関係について

- 問** 平成30年度の豪雪時に上水道の給水制限が行われたことを受けて、市は新たな水源の確保を計画していると同っている。新たな水源を確保することにより、水道料金への影響はあるのか。
- 答** 平成30年の給水制限における今後の対策の一つとして、新たな水源確保の中長期的対策は、令和4年度までの計画で井戸の取水能力の回復に努め、その状況を見て検討することとしている。今年度は、若猪野2号井の更新を揚水式で行っている。なお、適正な水道料金のあり方については、平成29年度開催の勝山市上下水道料金制度審議会において、「勘案すべき事案はあるが、今回は現状の料金体系を維持する」との答申を受けた。
- 水道料金などの改定は、市民生活に与える影響が大きいと認識している中で、急激な市民負担とならないように、定期的に料金制度について検証していく。
- 問** 市内の各区より提出された要望事項は多岐にわたる。その達成率はどの程度なのか。平成22年度からの推移について伺う。また、達成された要望事項を金額ベースにするなどの程度になるのか。
- 答** 平成22年度から平成30年度までに提出いただいた要望2150件のうち、勝山市が何らかの形で実施していくと回答し、事業化した要望は1238件、割合は57.6%となっている。
- また、要望事項の実施にかかった事業費は、平成22年度から平成30年度の9年間で総額23億3269万8千円となっている。